榎本　義輝　議員（自民誠和会）

地域公共交通のさらなる充実を

町長　利用実態を踏まえ運行計画の見直しに取り組む

質問　令和3年10月1日より2年間限定で始まった瑞穂町コミュニティバス実証実験も1年が経過した。町民からの声には東京都のシルバーパス制度と同等の制度を求める意見やバス停の移動・新設、一部地域にはデマンド交通の導入、また民間バス会社の運行ルート変更などの意見がある。改善点や町民の意見も見えてきたと思うが、地域公共交通に関する現状の課題と今後の改善について、所見を伺う。

町長　令和4年度は、地域住民との意見交換会やアンケート調査を実施し、バス停の位置変更や新設、ルート変更など多くの建設的な意見をいただいた。地元の声を踏まえた運行計画の改善に向けて、地域公共交通会議に諮り、その上で実証実験期間中であっても、計画の見直しに取り組んでいく。今後、計画見直し後の利用実態を踏まえ、継続・廃止の可否や運行形態などについて検討する。また、町独自のシルバーパスなどの補助について研究していく。

令和4年度第2回地域公共交通会議

こんな質問もありました

探求学習の重要性と不登校への対応強化を

教育長　自己の生き方を考えていく上で重要な学習。不登校対策にはオンラインによる学習の機会の確保に努める。

下野　義子　議員（公明党）

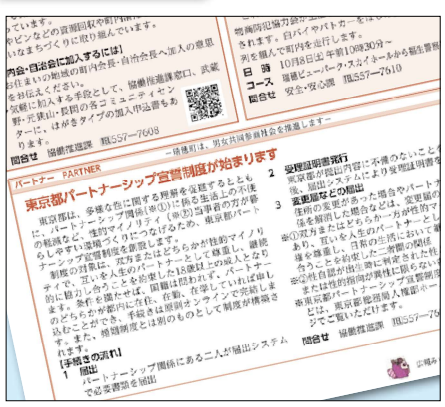
性的マイノリティの方々の人権を守る取り組みを問う

町長　引き続き偏見や差別をなくす取り組みを進めたい

質問　性的マイノリティについてはLGBTQやSOGIとして認識は広がりつつあるが、依然、当事者は偏見や差別的対応など社会的生活の様々な場面での困りごとに直面している。

都は本年11月「東京都パートナーシップ宣誓制度」を施行した。都における困りごとの解消、暮らしの環境改善が期待される。人権を守るため町も同様の制度の創設と相談・支援の拡充や啓発・教育の推進に取り組むべきと考えるが、町長、教育長の所見を伺う。

町長　町は、以前から人の多様性と個性を大切にしてほしいとの願いを込めて、広報みずほに「パートナー」のコーナーを設けている。教育委員会でも児童・生徒が相談しやすい体制づくりや、互いの人格を尊重し、偏見や差別をなくすための人権教育を推進している。パートナーシップ制度は、他自治体と連携し、制度周知や当事者の孤立などが起こらぬよう理解を求め、都と連携したサービスの提供を図る必要がある。引き続き、様々な偏見や差別をなくす取り組みを進めたい。



広報みずほ「パートナー」のコーナー

小山　典男　議員（自民新政会）

防災・減災「危険箇所」の再点検を

町長　修繕や撤去された箇所もある

質問　令和元年9月定例会で「町内の危険ブロック塀への対策を」と題し、一般質問を行った。

その際、小学校の通学路に民有地のブロック塀が153カ所あり、その中で目視により注意が必要とされるところを22カ所確認している。「これからどうすべきか慎重に考えなければいけないが、このまま放置するというわけではなく、しっかり研究していきたい」との答弁があった。そこで、その後どのような研究をされたのか、町長の所見を伺う。

町長　元年度から危険箇所の再確認を行った上で、地域防災計画の改定を行った。また、住宅などの耐震化の現況を再把握し、耐震化促進計画を定めた。ブロック塀対策については広報やホームページなどで、危険性の注意喚起と撤去・修繕の呼びかけなど啓発活動を継続して行っている。通学路点検で注意を要するとされたブロック塀や万年塀が修繕や撤去された箇所もあり、成果は出てきていると考えている。

補強されたブロック塀（四小）

こんな質問もありました

高齢者の居場所づくりの今後の展開は

町長　通いの場や居場所づくりについては住民主体の協働事業で実現を図っていきたい。

石川　修　議員（自民新政会）

これからの瑞穂町産業まつりについて

町長　改善・改革の道を探りたい

質問　第50回産業まつりは令和2年から毎年延期され、今年も延期された。マンネリ化しているとの声も聞く。この機会に来年の開催に向けて、一度白紙に戻し、名称についても、産業まつりでいいのか、まつりの目的・開催時期、実行委員の役割、組織改編で新設された観光・プロモーション係を中心とした総合的な運営に変更するなど、早急に各種団体に幅広く声を掛け、町民ニーズに合ったまつりにしたらと考えるが、町長の所見を伺う。

町長　産業まつりは産業従事者が一堂に会し、50年以上にわたって産業の振興と町の発展を目的に開催してきた一大イベントである。急な変更をするのではなく、伝統を大切にしながらも、若い人の考えを取り入れるなど、今の時代に合った、より魅力的なイベントにしていかなければならない。産業まつり実行委員会、商工会、各種団体にそれぞれの事情を確認した上で、他の自治体の事例なども参考にして、改善、改革の道を探りたい。

平成29年に開催された瑞穂町産業まつり